

令和7年 3月 7日 (金)

あさひの日だまり

NO.35

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～卒業が近づいてきました～

心穏やかに心を込めて

18日が卒業式です。昼の放送で「給食も残すところ一けたの日数になりました」という話がありました。6年生の登校日が少なくなってきたことを実感しました。

今、校長室にこもって卒業証書を書いています。6年生の担任の先生からいただいた児童名簿を見ながら一人ひとりの名前を書いています。一人ひとりの名を書き終えた後、筆で書いた決して上手とは言えない子どもの名前をじっと見つめます。名前を見ながら「下手な字でごめんね」と謝るのと同時に「名前に込められたご家族の願い」に思いを馳せます。そうしているうちに名前をもらったその子の表情が目に浮かんできます。そして表情と名前がダブリます。

名前を見つめていると、目の前に若葉の緑が輝く風景が広がります。青々としたどこまでも広がる海の景色が見えます。優しさに触れて心が温まります。凛々しく堂々と歩いていく姿が見えます。みんなに大切にされて愛される将来が見えます。なんて素敵な名前なんだろうと思います。ご家族に愛されてきた事実がひしひしと伝わってきます。

「私たちはご家族の願いにこたえようと精一杯この子たちと向き合っただろうか」ということを思います。自然と申し訳ない気持ちが湧いてきます。

卒業式当日、一人ひとりの子どもたちに卒業証書を手渡します。「挑戦の機会が君たちを待ち構えているぞ」という気持ちで渡そうと思います。と同時に、この素敵な名前を与えて下さったご家族の皆さんに「今こうして立派にお子様卒業していきます。本当におめでとうございます」という思いを込めて、卒業証書をお渡ししたいと思います。



～6年生を送る会がありました～

心穏やかに心を込めて

5年生を中心に計画を進めてきてくれた6年生を送る会が6日(木)に行われました。各学年から6年生へ出し物やメッセージがプレゼントされました。どの学年の出し物も時間をかけて練習したことがよくわかりました。そして、出し物をしている子どもたち自身がとても楽しみながら動いていることが体育館の雰囲気をととても明るくしてくれていました。

5年生の出し物は6年生が入学してからこれまでの行事をスライドで映し、その時の思い出をインタビュー形式で6年生に答えてもらいながら進めてくれました。懐かしい写真に6年生の中からは笑い声やざわめきが起きていました。これまでいろいろなことを体験しながら6年生が成長してきたことが次第に成長していく写真の中の姿から感じられました。

会が終了した後5年生の皆さんに「一生懸命に計画を進めてくれて素敵な会を作ってくれました。本当にありがとうございました。これから先のことも自信をもってやって下さい」とお話をしました。話を聞いてくれている5年生の顔に今までにない自信の表情が見て取れました。今回の行事を通して一回り成長した5年生でした。



1年 マントをなびかせレインボーマン



3年 自作の楽器で矢沢永吉



2年 心を込めてすべてに「6年生ありがとう！」



5年 思い出のスライドとともに



4年 笛の音に乗せて



くす玉に感謝の心を込めました



6年 合唱に「送る会」を開いてくれたことへの感謝を込めて



各学年の出し物を写真で紹介しました。印象的だったのは、6年生の立ち姿です。ずっと伸びた背筋。心のこもった返礼。胸を張って前を見つめる表情。

「卒業」とは単なる学校の一つの行事ではないことをその姿が語っていました。6年生はこの時期に自然と「卒業」にふさわしい姿になっていくのです。心の内が「卒業生」になるに従い、外見も「卒業生」になっていくのです。

卒業式には、卒業にふさわしい姿になった6年生の姿を見せてくれるに違いありません。